

じめじめした季節の中、さわやかであたたかなギターの音色に癒される時間をおすごしください。



大西洋二郎（ギター）

プロフィール：1983年生まれ。奈良県出身。13才からギターを始める。ギターを川端嘉也、藤井敬吾の各氏に師事。2004年3月大阪音楽大学短期大学部卒業。2007年3月同短期大学専攻科修了。2008年8月学士（芸術学）の学位取得（独立行政法人大学評価・学位授与機構）。「大西洋二郎豊中ギター教室」「箕面ミュージックドリーム」「三木ミュージックサロン三宮」「三木ミュージックサロン心齋橋」でギター講師を務める。ソロ演奏の他に様々な楽器の伴奏者として活動している。

プログラム

- ♪ 禁じられた遊び(ルビラ)
- ♪ アルハンブラの思い出(タレガ)
- ♪ 序奏と踊りno.1(藤井敬吾)
- ♪ 夢の円舞曲(藤井敬吾) 他

教会の春・夏・秋・冬 …「花の日訪問」

6月の第2日曜日は、キリスト教の暦では「花の日」です。アメリカの教会で、一番花の美しいこの季節に花を飾ったことから、花の日が始まりました。



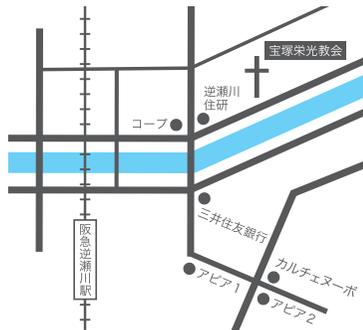
神様の恵みを豊かにあらわしている美しい花を通して、神様を賛美し、神様に感謝する事を子どもたちに知ってほしいという願いがこめられています。この時期、キリスト教会では花を用意し、公共施設や福祉施設を訪問します。宝塚栄光教会では、子どもたちが近所の交番や消防署、老人ホームの入居者の方々に花を届け、とても喜んでいただいています。訪問先の温かい心に触れて、子ども達の心も豊かに育っています。「受けるより与える方が幸いである」との聖書の言葉を経験し、真に豊かな人生を歩んでほしいと願います。

エコキャップ大作戦



キャップを数えよう!
4455個(ワクチン5人分)もあつたよ!

教会では、ペットボトルキャップの回収をおこなっています。集められたキャップは宝塚ボランティアセンターを通して、エコキャップ推進協会に送られます。キャップ800個で1人分のポリオワクチンになるそうです。



宝塚栄光教会 牧師：岩間洋

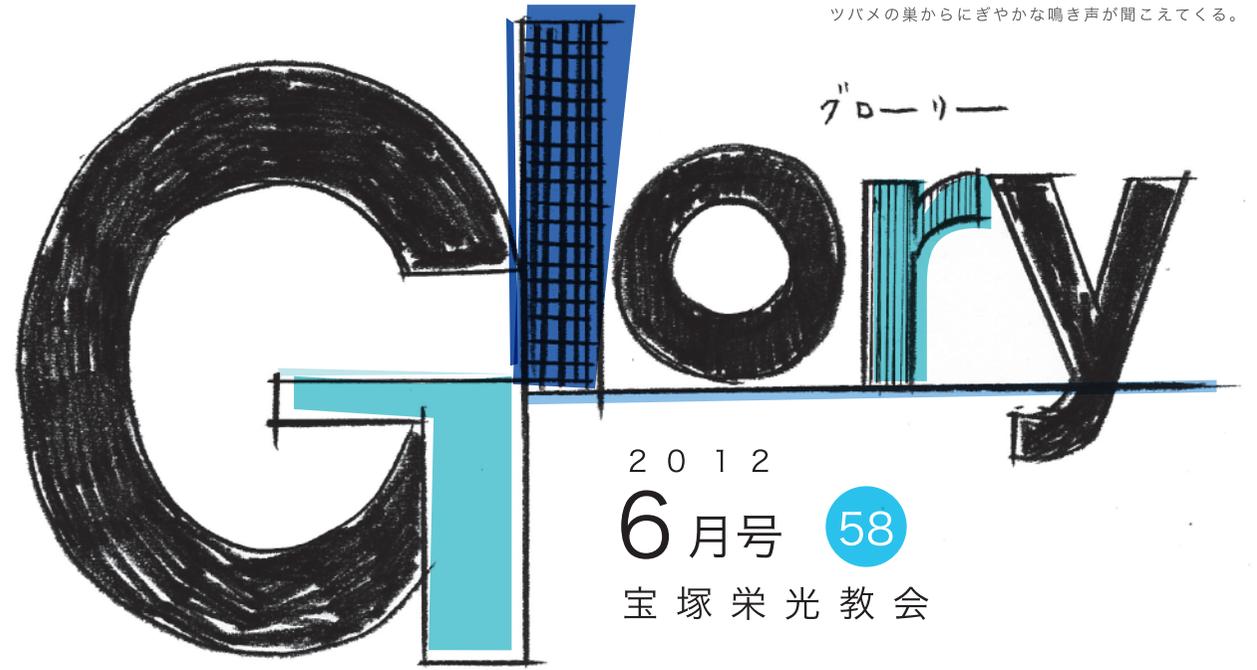
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076
E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル **0797-77-3746**
毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ツバメの巣からにぎやかな鳴き声が聞こえてくる。



2012
6月号 58
宝塚栄光教会

欠けたことが一つ

一人の裕福な若い役人が、イエス・キリストのもとに、永遠のいのちをいただきたいと思って求めてきたお話が、聖書の中に出てきます。彼は真面目な求道者です。しかも、「律法を行いなさい」とキリストから言われると、彼は胸を張って、「先生。そんなことはみな、小さい時から守っていますよ」と答えるほど、忠実な人でした。そんな彼に、キリストはこのように対応されました。

「イエスは彼を見つめ、その人をいつくしんと言われた。『あなたには、欠けたことが一つあります。帰って、あなたの持ち物をみな売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むこととなります。そのうえで、わたしについて来なさい。』」（マルコの福音書 10章 21節）

この言葉を聞いて、彼はどうしたのでしょうか。「はい、わかりました。そうします」と答えたのでしょうか。いいえ、残念ながら彼は、顔を曇らせて、悲しみながら立ち去ったのです。彼はたくさんの財産を持っていたのです。

ここで大切なことは、キリストは言おうとされたのか、ということです。キリストは、財産を売り払って清貧に甘んじることや、あるいは貧

しい人々への慈善事業に励むことを勧められたのではありません。私たちは、永遠のいのち、すなわち魂の救いを得るために、いろいろなことをします。少しでも高い学歴を、少しでも豊かな教養を、少しでも益になる趣味を身につけようとしています。しかし、本当の魂の救いは、外からべたべたとくっつけることによって得られるものではないのです。むしろ、身につけていたもの、後生大事にあたためていたもの、これだけは放すものかと握りしめていた自分をいっさい手放して、空っぽになることから始まるのです。

私たちが真っ先に手放さなければならないものは、罪です。まことの神様がおられるのに、知らなかった、信じなかった罪、また具体的に人を傷つけた、人のものをむさぼった、などの罪を悔い改め、キリストは私のために身代わりに十字架についてくださったことを信じるなら、どんな罪も赦され、喜びと平安が心を満たします。これが永遠のいのちです。

身につけるよりも手放すことが、ポイントです。そして、単純な心になって、神様の言葉に従っていくのです。そういう者にならせていただくようではありませんか。

「レンゲツツジ」

六月

山は芽吹きから 新緑へと移り行き
一年中で 一番さわやかな季節を 迎える
数々の美しい花に おおわれて
山の景色も 美しく変化する

この花の色は 全く 自然そのものの色で
人間の手は 加わっていない

誰がこの色を 作り出すことができるのか

レンゲツツジの朱色も

その鮮やかさに 圧倒されてしまう

山の緑色とのコントラストも

目がさめるようだ

初夏の高原

日光のあたるところから 咲き始めて

順々に 高いところまで

染め上がっていく姿は 目にまばゆい

そうして 美しい山の織りなす色で

私たちは いやされ 力づけられ

元気を 受け取っていくのだ

わたしは 彼の道を見た

わたしは 彼をいやし 休ませ

慰めをもって 彼を回復させよう

民のうちの 嘆く人々のために

わたしは 唇の実りを創造し 与えよう

平和 平和 遠くにいる者にも

近くにいる者にも

わたしは彼をいやす と主は言われる

